

11回目となる今回の「別離の悲しみを考える会」では、浄土真宗本願寺派長久寺住職の有国智光さんをお招きします。有国さんは、ご長男を小児がんで亡くされ、その闘病の過程を細やかな感性で、『遊雲さん 父さん』に綴られました。また、ご長男を亡くされた後も、ご自身の心の動きをホームページに綴られています。

今回のシンポジウムでは、有国さんが念仏者として別離の悲しみとどう向き合い、そして超えてこられたのかお話しいたします。

私たち一人ひとりが、別離の悲しみとどのように向き合ってゆくのか、ともに考えて参りましょう。

13:00 ~ 14:00

第一部

60分

# 死んでいくこと、 生きるということ

14:15 ~ 15:15

第二部

60分

## 会場からの質問をうけて

15:15 ~ 15:30

## まとめ 閉会